

事業番号	16 01 01	事業改善シート（令和元年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	犯罪のない安全な社会づくり事業		部局	警察本部	課・室	警務部・生活安全部・地域部・刑事部・警備部
			実施期間	～	E-mail	police-keimu@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標						
総合的に展開する重点政策	4-4 生命・生活リスクの軽減 5-5 子ども・若者が夢を持てる社会づくり					




1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	【現 状】 県下の治安情勢は、刑法犯認知件数が平成14年から16年連続で減少しているものの、特殊詐欺やストーカー・DV事案等の人身安全関連事案が後を絶たないなど、依然として厳しい情勢にある。
	【目指す姿】 地域住民のニーズに応え、地域社会と一体となった各種活動を展開し、県民が犯罪の被害に遭うことなく、また犯罪の被害に遭う不安を抱くことのない安全・安心を実感できる社会づくりを推進する。
	【実施内容】 生活安全対策、犯罪捜査活動、地域警察活動、治安基盤整備 など

指標及びその達成状況 [↗:改善、↘:悪化、→:変化なし]						事業 コスト	区分(単位:千円)	H30年度	R1年度	
No	成果指標	H29年度	H30年度	R1年度	目標値		達成状況	前年度繰越	37,763	1,080
1	刑法犯認知件数	9,535件	8,825件 ↗	8,504件 ↗	9,535件以下		達成	予算額	1,275,909	1,516,076
2								合計(A)	1,313,672	1,517,156
3								うち一般財源	1,007,787	1,056,158
4								決算額(B)	1,210,524	1,430,047
							職員数(人)			

※ 職員数(人)については、特定の事業に従事する人員を算出できないため未入力。

成果指標 設定理由	刑法犯認知件数は減少傾向にあるものの、県民が不安を感じる犯罪はいまだ後を絶たず、治安改善のための的確な犯罪抑止対策が求められていることから、刑法犯認知件数をH29年の9,535件未満とする目標を設定。
達成状況 の分析	県民への迅速な情報提供やあらゆる機会を利用して関係機関・団体と連携した広報啓発活動の実施、犯罪の起こりにくい環境整備等の諸対策により、刑法犯認知件数の減少傾向を維持し、目標を達成した。

主な取組	●非行防止教室の実施 IT方式(チームティーチング方式)による非行防止教室のほか、動画や映像等を活用するなど、対象となる年齢や発達段階に応じた非行防止活動を実施	 非行防止教室
	●特殊詐欺被害防止活動 SAS(信州安全安心サポーター)や関係機関・団体と連携した広報啓発活動、標語入りキャッシュカードケースの作成・配布、犯行利用名簿登載者への郵送による注意喚起等、被害対象者への直接的な注意喚起の実施	 特殊詐欺被害防止啓発活動
	●犯罪抑止対策 全国地域安全運動や年末特別警戒に併せ、自転車防犯診断、多目的検問、広報啓発活動等の犯罪被害防止活動を実施	 犯罪被害防止活動

2 今後の事業の方向性

	課 題 等	今後の方向性
今後、事業をどのよう にしていきたいか	県内の刑法犯認知件数は減少しているものの、特殊詐欺の被害やストーカー行為、配偶者暴力などの人身安全関連事案は高水準で推移しており、県民が安全と安心を実感できるには、依然として課題が多い状況にある。	日本一安全・安心な信州の構築に向け、特殊詐欺や人身安全関連事案等の犯罪抑止対策の推進、検挙力の強化を図るとともに、優秀な人材の確保、警察施設や装備資機材の整備等の警察基盤強化を図る。